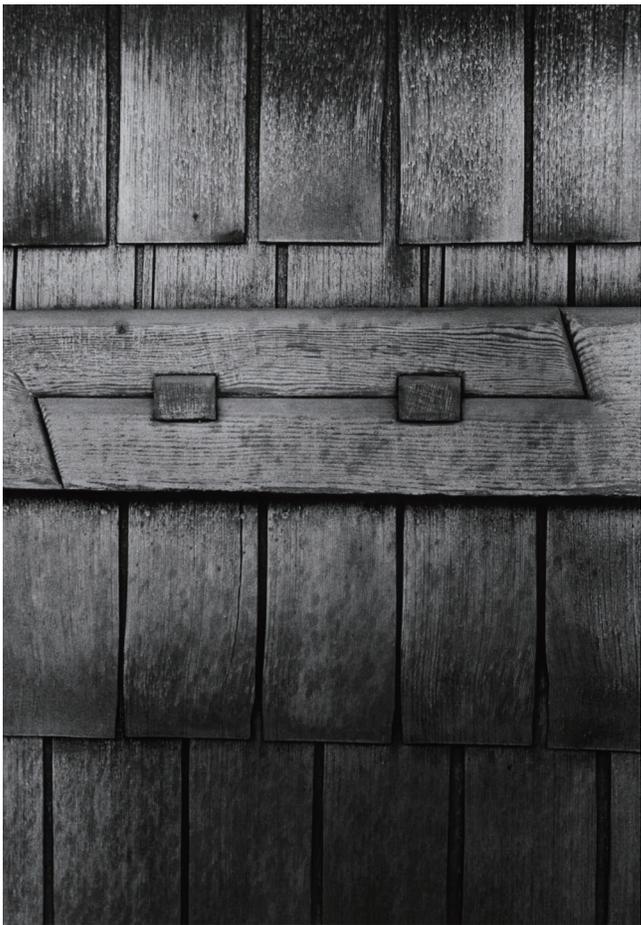


ギャンブル邸

石元 泰博

1974年、ゼラチン・シルバー・プリント ©高知県、石元泰博フォトセンター



石元泰博は1974年にカリフォルニア州パサディナを訪れ、アメリカの建築家グリーン・アンド・グリーンの手による住宅を撮影した。チャールズ・グリーンとヘンリー・グリーンの兄弟は、1900年代に日本建築を取り入れた木骨様式の優雅な住宅を多く手掛けており、アメリカにおけるアーツ・アンド・クラフツ運動の「唯一の、そして最後の輝き」と評されている。

この写真は「カリフォルニア・パンガロー・スタイル」と呼ばれたグリーン兄弟の代表作、ギャンブル邸の外壁を写したもので、下見板と呼ばれる横ばりの壁板は、互いに重なり合うように取り付けられている。画面中央を横切るのは、継ぎ手と呼ばれるもので、二つの材が取り合うとき一直線になるように加工する方法である。重ね合わされる下見板の木肌のパターン、その中央に置かれた継手と込み栓がデザインとして画面にアクセントを与えている。木肌を愛し精巧な木組みを工夫したグリーン兄弟の傑作。石元はかつて桂離宮を撮影したように、素材のディテール、建物の継ぎ目に細心の注意を払い、卓越した造形感覚からその対象を鋭く捉えている。ヘンリー・グリーンは次のような言葉を残している。「不必要なものをすべて取り除き、できるかぎり全てを率直に、そしてシンプルにすること、ただし、最終的な目標として常に美しさを心掛けること」
文◎植田 憲司(元当館学芸員)

石元泰博・コレクション展
「グリーン・アンド・グリーン
カリフォルニアの住宅」

2017年4月6日[木]—8月6日[日]
前期 | 4月6日[木]—6月4日[日]
後期 | 6月6日[火]—8月6日[日]
※6月5日[月]は展示替えのため閉室

編集後記 Editor's note

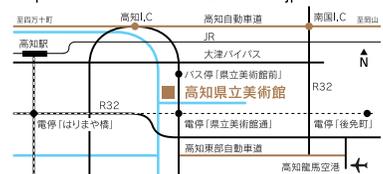
美術館の傍らに流れる舟入川に浮かぶ鴨が気になって仕方ありません。仕事で疲れた時、なんとなく見入ってしまう彼らは春になったらどこにいくのでしょうか。高知県立美術館で働くようになって一年、そんなことが気になる今日この頃です。

編集担当◎中村 麻莉(当館学芸員)



高知県立美術館

THE MUSEUM OF ART, KOCHI
〒781-8123 高知市高須353-2 TEL.088-866-8000 FAX.088-866-8008
<http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~museum>



KENBI LETTER

THE MUSEUM OF ART, KOCHI

高知県立美術館通信

これぞ
This is Kyōsai!
The Israel Goldman Collection

世界が認めた幕末・明治の絵師

96

2017年4・5・6月

庶民に親しまれた浮世絵から
格式高い狩野派まで、
あらゆる画法をマスターした
希代のハイブリッド絵師。

それが… 河鍋暁斎!

文〇中谷 有里 (本展担当学芸員)

こんな人

《蛙の人力車》
明治4-22 (1871-89) 年
紙本淡彩 (部分)



天保2 (1831) 年、現在の茨城県生
まれ。幕末維新期の日本における
当代随一の絵師として知られ、明
治22 (1889) 年に没するまで旺盛
な制作活動を続けました。浮世絵
師の歌川国芳に師事する一方で
狩野派の絵師、前村洞和と狩野洞
白に学びました。確かな観察眼と、
描画センス、そして何よりもユー
モアを加えた暁斎の作品は、時代
と国境を超えて私達の心を捉え
て止みません。

河鍋暁斎肖像写真
河鍋暁斎記念美術館蔵



大のお酒好き!

暁斎は大のお酒好き。必ず毎日一
升はお酒を飲んでいたそうです。
書画会などでのお酒の失敗談も数
知れず。今回の展示では、酒好きか
ら生まれた号「米汁翁」の印を使っ
ている作品も出品していますので、
探してみてくださいね!

《動物の曲芸》
明治4-22 (1871-89) 年
紙本墨彩 (部分)



《俳聖群像図》
明治4-22 (1871-89) 年
絹本墨彩 (部分)



幼少時から
絵に熱中!

暁斎は子どもの時から写生が得
意だったと言われています。初
めての写生は3歳の時、お菓子
の袋に描いた蛙の絵で、大人た
ちから大層褒められたそう。9歳
の時には、写生をするために神
田川で生首を拾ってきてしま
い、お父さんに叱られたという
エピソードも…



手段を選ばない
悪鬼退治人

鍾馗はもともと中国の神
様で、日本でも鬼を退治
する姿から魔除けとして
庶民に親しまれてきまし
た。暁斎の描く鍾馗は真
面目からコミカルまで実
に多種多様! 時には奇抜
な方法を駆使して鬼をや
っつけるその姿に、暁斎
のアイデアがたくさん
詰まっています。

《鬼を蹴り上げる鍾馗》
明治4-22 (1871-89) 年 紙本淡彩



お猫さま& ナマズの 意外な関係

なまず
仰向けに横たわる鯰の上に猫がどっしりと
横たわります。明治初期において「猫と鯰」に
は特別な意味がありました。猫は三味線の
皮に使われたことから芸者、鯰はナマズヒゲ
から官僚の隠喩。軽妙洒落な筆致がまた気
持ちいい、可愛いだけではない、ちょっぴり
皮肉が効いたスパイシーな作品です。

《鯰の船に乗る猫》明治4-12 (1871-79) 年 紙本墨彩



担当学芸員の
おすすめ作品はこれだ!

ぬるり、ギラリ
幽霊

写生を得意とした暁斎ならではの迫真
の描写が光る幽霊図。代々、家が幽霊画
を集めていた歌舞伎役者、五代目尾上菊
五郎の依頼で描いたものと言われてい
ます。金と銀で彩色された目が怪しく光
る生々しい顔貌表現には、現実と幻想の
あわいにおける絶妙な緊張があります。

《幽霊図》慶応4/明治元-3 (1868-1870) 年頃
絹本彩色、金泥

河鍋暁斎

KYOSAI KAWANABE

目ヂカラ ぐつとくる

本展コレクターのゴールドマンさんがコレクションの最初期に購入した暁斎作品のひとつ。暁斎晩年の宗教画を代表するもので、かつては弟子のジョサイア・コンドル(コンダー)が所有していました。印象深い大きな目は、一度見たら忘れられません。

《半身達磨》 明治18(1885)年 紙本淡彩



ウルトラテクニク 超絶技巧 in着物

室町時代の遊女、地獄太夫が一休の教えについて悟りを開いたお話に基づく本作。地獄が描かれるはずの地獄太夫の着物には、七福神や宝珠などのおめでたい図像がぎっしり! 暁斎は着物のデザインにも大きな関心を持っていました。よく見ると眼鏡をかけたオジサンがいるかも…?

《地獄太夫と一休》
明治4-22(1871-89)年 絹本薄彩、金泥



ゴールドマンさんに 会ってきました!

本展担当の中谷学芸員が、本展コレクターのイスラエル・ゴールドマンさんにインタビューしてきました。画商にしてコレクターという二つの顔を持つイギリス在住のゴールドマンさんは、茶目っ気たっぷりの気さくな方。さてさて、一体どんなお話が飛び出したのでしょうか?

— 暁斎作品の一番の魅力を教えてください。

何よりもまず、ユーモアです。暁斎の絵は私の知る他のどんな絵師よりもウィットに富んでいて、巧妙で、楽しい。とても陽気で皆を笑わせるんです。「芸術はまじめでなくてはならない」と考える人もいるとは思いますが、笑いも同じくらい大事だと思います。暁斎の笑いは普遍的で、国境も超えているのです。

— 暁斎は本当に幅広い性格を持った絵師ですが、その中でご関心が移り変わることはありますか?

私はずっと動物のテーマを好んできました。日本の動物の描き方の伝統は、動物たちが可愛くて、情緒的で、世界的にもユニークだと思います。西洋の画家が描く猫は大抵ちょっと甘すぎるんですが、暁斎はそこに少しひねりを加えていて、ちょうど良いのです。

私が暁斎が好きだと気が付いたのは購入した《象とためぎ》(*本展出品作)を売却した時。喪失感を感じて、それがまさに自分の好みだったことに気づいたのです。おかしな成り行きだけれど、暁斎が私を見つけてくれたように感じています。しかし最近私の興味も広がって、特に1880年代の仏教など宗教的テーマの作品を楽しむようになりました。それらの精神性と力強さに惹かれたのです。人生の終わりに差し掛かると多くの人は画風の上で精神性を帯び始めるものですが、そのような意味でも第6章「祈る一仏と神仙、先人への尊崇」は本当に美しいと思います。

《百鬼夜行因屏風》 明治4-22(1871-89)年 紙本薄彩、金砂子(部分)



これぞ ゴールドマン・コレクション 暁斎!

世界が認めた幕末・明治の絵師

This is Kyōsai!
The Israel Goldman Collection

2017年4月22日[土]~
6月4日[日] 会期中無休
9:00~17:00(入場は16:30まで)

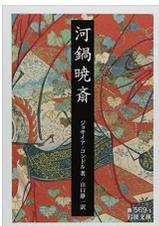
観覧料◎一般前売880円
一般当日1,100円(880円)
大学生当日800円(640円)
高校生以下無料

※()内は20名以上の団体割引料金。※年間観覧券所持者(2,580円)は無料。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、聴覚障害者手帳及び視覚障害者盲字帳所持者とその介護者(1名)、高知県及び高知市の長寿手帳所持者は無料。

主催◎高知県立美術館、KUTVテレビ高知
後援◎プリティッシュカウンスル、高知県教育委員会、
高知市教育委員会、高知新聞社、NHK高知放送局、
KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知、高知シティFM放送
協力◎日本航空



暁斎をもっと知りたい! そんなあなたにお役立ちのこの一冊!



『河鍋暁斎』
ジョサイア・コンドル著/
山口静一訳(岩波書店、2006年)

お雇い外国人であり建築家のジョサイア・コンドル(コンダー)が、河鍋暁斎の弟子として学んだ内容と暁斎のエピソードをまとめた書。身近な人物の視点から、天才絵師暁斎の姿が時代の空気とともに生き生きと語られています。



『暁斎春画』
石上阿希/定村来人
(青幻舎、2017年)

ゴールドマン・コレクションから、春画すべてを紹介。エロティックなだけではない、ユーモアとパロディ満載の暁斎春画の世界を楽しむことができます。

『コロナブックス
河鍋暁斎絵日記
江戸っ子絵師の活写生活』
河鍋暁斎記念美術館編(平凡社、2013年)



暁斎は明治初期から絵日記を毎日つけていたと言います。暁斎の手にかかれれば、何気ない日常生活もたちまち魅力的な戯画に生まれ変わります!

『これぞ暁斎!
ゴールドマン コレクション』
及川茂監修/東京新聞他編
(東京新聞、2017年)

もちろん本展の全出品作を網羅した図録も忘れてはいけません! 作品解説も盛りだくさんの充実した内容です。

展覧会場
限定販売



見どころその1

絵馬提灯
12基が揃います!

絵金と言えば土佐の夏祭りに飾られる芝居絵屏風が有名ですが、同じく祭りを彩る道具である絵馬提灯も制作しています。今回展示するのは、文楽や歌舞伎でもおなじみの忠臣蔵の物語を描いた12基の絵馬提灯。極彩色の芝居絵屏風とは一味違ったユーモアと無残の入り混じる絵金ワールドが展示室を照らします。



〈図本平記実録代忠臣蔵〉より「天河屋の場」 紙本彩色 高知県立美術館蔵 絵金

見どころその2

修復した
絵金派屏風を
初お披露目!

南国市・札幌地区町内会より寄贈を受けた芝居絵屏風4点が、(公財)元興寺文化財研究所の技術者の手により、平成28年度に修復されました。古くなった骨(屏風の基底材)が取り換えられ、画面の破れ・汚れも繕われるなど、専門家チームの尽力で往時の輝きを取り戻した4作品。本展が修復後初めての一般公開となります。



修復作業の様子(画像提供:公益財団法人 元興寺文化財研究所)

もうひとつの
絵金

—芝居絵屏風をめぐる土佐の文化—

3月末から絶賛開催中の「絵金特集:もうひとつの絵金」展。主役の「絵金」こと弘瀬金蔵は、高知が誇る幕末維新期の絵師です。かつて土佐の闇夜で輝いた絵馬提灯に焦点を当てた本展の魅力に迫ります。

3月30日[木]~6月11日[日]
於:第4展示室



〔天女図〕絹本着色 高知県立美術館蔵 前村洞和



河鍋暁斎

見どころその3

「これぞ暁斎!」×
「もうひとつの絵金」
という楽しみ方。

絵金は、河鍋暁斎と同じく幕末維新期を生き、狩野派絵師と町絵師というふたつの顔を持った絵師。実は絵金と河鍋暁斎には江戸の駿河台狩野家の絵師である前村洞和に師事したという共通点があります。本展では当館コレクションの洞和の作品も展示。幕末を生き抜いた絵師達による、高知だけのコラボレーションをご覧ください。

〔晩春遊園〕第六号 伊藤錦堂 紙本着色 一九九九年 大津絵師会蔵



▲高須小学校での「ドンキホーテ」初演の様子。

KENBI REPORT #20

美術館ホールが
出前
しました!



2008年からスタートした「出前クラシック教室」。この事業のために結成された「アンサンブルパレット」と共に県内の幼稚園・小中学校を回る中で、親御さんから本格的なクラシックを子どもと聞きたいというお声をいただき、念願の美術館ホールでのコンサートが2017年2月に実現しました。

曲を通して想像を膨らませてもらえたらと、朗読や影絵などを盛り込み、ホワイエには子どもが遊べるスペースを用意するなど、どうすれば楽しんでもらえるか工夫しながら準備を進めました。

お客様からは、子どもがちゃんと音楽を聞いていた、泣いていてもあまり気にせず聞き続けることができて自分自身がフレッシュできた、など嬉しい感想をいただき「もっとこうしたら、子ども連に届くかも!」と更なる案が湧いてきています。今後も内容をブラッシュアップして、音楽を届けたいです。

文◎山脇有美(当館企画事業課)



▲「0歳からのクラシックコンサート」では、照明にもこだわりました。

出前クラシック教室
スペシャル版
「0歳からの
クラシックコンサート」



アンサンブルパレットの皆さん(左から、ピアノの杉本成美、ヴァイオリンの川村陽華、サクソフォンの福田香苗、トランペットの中山園、フルートの岡林綾)と、浜田あゆみさん(朗読)。

祝!!「日本における
キュビズム」展カタログが
美術館連絡協議会の
優秀カタログ賞を受賞!!

2017年2月12日から3月26日にかけて当館で開催した「日本におけるキュビズムーピカソ・インパクト」展のカタログが、美連協より2016年優秀カタログ賞を受賞しました。

充実した論考はもちろん、デザイナーの大溝裕氏による斬新な装幀も魅力の本カタログは、ミュージアムショップにて2,300円(税込)で好評発売中!

